

3名の広報官が繋いで入隊した『米林健太さん』を紹介

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、3月2日（土）横浜地区入隊・入校激励会で代表挨拶としてスピーチした米林 健太さんを紹介する。米林さんは市ヶ尾募集案内所の広報官3名に支えられ、平成31年の春、遂に航空自衛隊幹部候補生学校に入校した。米林さんと出会ったきっかけは、神奈川県立川和高校の生徒だった米林さんが「防衛大学校を受験したい」と同所へ来所した時だった。防衛大学校理工学専攻を受験した米林さんであったが、2次試験前に首都大学東京の航空工学科に合格が判明し、ご家族と相談の結果、戦闘機開発の研究者を目指す目標のため首都大学東京への進学を決めた。首都大学東京進学後も自衛隊に関心のある米林さんを1人目の曾我 秀臣広報官（現陸上自衛隊中央野外通信群・久里浜）が支え、予備自衛官補試験を勧め見事合格した。学業と両立し予備自衛官補の訓練に定期的に参加し、在学中に晴れて予備自衛官として任命された。

米林さんが大学2年の冬には、「貸費学生を受験してみたい」との相談があった。毎年全国各地の合格者しか輩出しない難関試験であったが、過去問題を情報開示請求にて請求する等の対策を行い、曾我広報官と二人三脚により狭き門を突破し合格を勝ち取った。大学3年生4月から貸費学生として新たな大学生活がスタートし、防衛省からの支援を受けながら、研究者として研究に没頭することができた。

その後、引継いだ2人目の松村 浩二広報官（現横須賀地域事務所）が首都大学東京の卒業を控えていた平成29年1月に連絡をすると、学会での論文の発表成果が認められ、大学院に進学が決まったと報告を受けた。大学院進学後も予備自衛官2土として訓練に参加し、米林さんは心身ともに成長をしてくれていた。

米林さんが大学院2年になろうとしていた平成30年3月、更に後を引継いだ3人目、現在の担当、井坂 健太郎広報官が大学院卒業を控えた米林さんを親身になって支え、歴代広報官の思いを繋ぎ航空幹部候補生学校に入隊するに至った。

横浜地区入隊・入校激励会当日はスーツ姿に身を包み、約200名の入隊・入校予定者とその家族の前に堂々と登壇し、自身の入隊までの歩みを交え、GPS研究で学会に表彰された事や、自身を支えてくれた防衛省に対して感謝の言葉が述べられた。「今後は戦闘機の開発に携わっていきたい」と熱い思いも語ってくれた。挨拶が終わると、会場から米林さんへ盛大な拍手が送られ、一緒に参列していた父、実さんも感慨深い様子であった。

市ヶ尾募集案内所は「足かけ7年間、広報官3名がそれぞれの思いで支え続けた対象者が航空幹部学校への入隊間近となり、感慨もひとしおである。本人から防衛省や広報官へ謝辞があり、良い人材を獲得できた」と実感できた。これからも対象者に寄り添う広報官を育成し、対象者個々に応じたつなぎ広報官を実施して優秀な人材を確保していきたい」としている。



横浜地区激励会で入隊者代表者として挨拶する米林さん（中央）



挨拶に登壇する米林さん

高等工科学校生徒が母校を訪問

自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 野田3海佐）は3月7日（木）、神奈川県大和市立つきみ野中学校を平成29年3月に卒業して陸上自衛隊高等工科学校に入校した生徒の母校訪問を支援した。母校訪問を行ったのは、厚木募集案内所から高等工科学校に入校し、現在2年生の佐藤 魁星生徒で、凛々しい制服姿で母校の門をくぐり、在校生の羨望の眼差しを堂々とした態度で受け、高等工科学校の生徒らしさをアピールしていた。

先生方の暖かい歓迎を受けた佐藤生徒は、始めは照れていたものの堂々とした態度で教育や訓練の様子を語り、成長ぶりをしっかりと伝え、その様子を見た先生方は皆、頼もしく成長した佐藤生徒に感心し、涙ぐむ先生の姿も見えた。

担任だった間先生に「高等工科学校では、どのようなことをしているの」と聞かれると、佐藤生徒は「勉強の他に訓練や小銃の射撃があります。部活動はドリル部に所属していて、記念行事（平成31年3月3日に行われた『第40回神奈川自衛隊音楽まつり2019』含む）等に出演しています」と答え、先生方から「中学時代はいつも人を笑わせてひょうきんだったのに、本当に立派になりました。自衛隊の教育のおかげです。本当にありがとうございます」と感謝の言葉をいいただくことができた。

佐藤生徒の、「今回このような機会をいただきありがとうございます。後輩達に自分の姿を見てもらい、少しでも自衛隊に関心を持ってもらえたら嬉しいです」と照れくさそうに話してくれた表情に、17歳の少年の初々しさが垣間見れたのが印象的だった。

厚木募集案内所は、「今後も卒業生との母校訪問の場を活用して自衛隊の魅力を伝え、一人でも多くの若者に志願してもらえよう募集活動に励んでいきたい」としている。



母校の入口前にて



佐藤生徒（後列中央）とお世話になった大和市立つきみ野中学校の先生方